



特定医療法人

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.goodream.co.jp/hoyukai/>

第7号

発行 / 2006年11月15日
特定医療法人 鵬友会
発行責任者 /
事務局長 池島 守

あしたばメンタルクリニック 院長のご挨拶

～ 患者側にたった医療を目指して～

院長 角田 貞治



平成16年5月17日に開院した当クリニックも3年目を迎えようとしています。当クリニックは、ほうゆう病院のサテライトクリニックとして鵬友会第4番目の医療施設として開設されました。二俣川駅北口から、試験場通りを長崎屋を左後方に視て、直進すること数分で辿り着く好立地にあります。

さて、当クリニックは開院当初より、2つの根本姿勢をモットーに設立しました。1つは、あしたば訪問看護ステーションの併設、グループホームへの訪問診療等と「地域医療に貢献する」ことです。これは、医療法人鵬友会のモットーの一つでもあります。今一つは、認知症患者を含む老年精神医学を柱として「老の社会に貢献する」ことです。これは、ほうゆう病院が目指しているモットーでもあります。

3年目を迎えようとしている現状はどうでしょうか。開院当初は閑散としていたが外来が賑やかさを見せると共に、これらのモットーは消え去り、ただ、日々外来患者を診察することだけに追われ一日が過ぎ去っていく毎日となっています。皮肉

なことに、古くから多くのメンタルクリニックがひしめき合っている二俣川駅の周辺にて患者数が増え、外来が込み合ってくるようになったのはこの2つのモットーがあったからでもあります。「地域医療に貢献する」というモットーは近隣身体科クリニック、病院等からの病診連携の結果であり、「老の社会に貢献する」というモットーがために、地域社会からの要望、公的機関からの紹介があったためであります。

3年に満たない現状にあって、「想定外」の結果になったのは、地域社会は勿論、当クリニックを支えてくれる多くの人たちの支えの賜物であり、努力の結果であることを、今一度肝に銘じ、満身努力する必要を実感しています。この時期に当たり、今一度初心に戻り、地域医療、老の医療に貢献することを目指したいと考えています。

湘南泉病院 消化器内科をご利用下さい！！

消化器内科では、4名の医師が診療を担当しております。超音波診断装置、CTなどの画像診断機器や、電子内視鏡システムを導入し、消化器疾患の標準的治療ガイドラインの沿った診断治療を心がけています。

具体的には、平成17年度上部内視鏡検査500例、下部内視鏡検査125例、PEG（胃ろう造設）210例、内視鏡的粘膜切除術20例を行なっています。胆道疾患に対する内視鏡治療は、原則、紹介しております（当院にて平成17年度、胆道ステント2例、食道ステント1例）。診断的内視鏡検査については、合併症の多い高齢者も安心して検査できるように前処置や鎮静剤使用に関して、テーラーメイドで行なっています。内視鏡機器に関しても患者様にやさしく、高性能なものを導入しております。

最近、話題の苦痛負担の少ない経鼻内視鏡システムも平成19年1月に導入します。

肝臓疾患に関しては、肝硬変の栄養療法、腹水コントロール、食道静脈瘤治療を行なっています。慢性肝炎に対する治療は、大学病院でプロトコルが決まった患者の継続治療の受け入れを行なっています。肝細胞癌の治療に関しては、基本的に大学病院に紹介しておりますので、安心して治療をお受け下さい。お待ちしております。

担当している医師 プロフィール



湘南泉病院 副院長
末盛 彰一 先生

専門分野：消化器内科・全般
出身大学名：広島大学
昭和55年卒業

所属学会：日本内科学会、日本消化器病学会、日本肝臓学会、

日本消化器内視鏡学会、
日本静脈経腸栄養学会

認定医又は専門医：日本内科学会認定医
日本消化器病学会専門医、
日本肝臓学会専門医、日本
消化器内視鏡学会専門医



鈴木 敏明 先生

専門分野：総合診療内科、消化器
内視鏡

出身大学名：聖マリアンナ医科大学
平成9年卒業

所属学会：日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会

認定医又は専門医：日本内科学会
認定医



岡本 菜穂子 先生（非常勤）

専門分野：消化器内科、内視鏡学会
出身大学名：聖マリアンナ医科大学
平成8年卒業

担当日：毎週金曜日



長瀬 良彦 先生（非常勤）

専門分野：消化器、肝臓内科、
内視鏡学会

出身大学名：聖マリアンナ医科大学
平成9年卒業

担当日：毎週水曜日